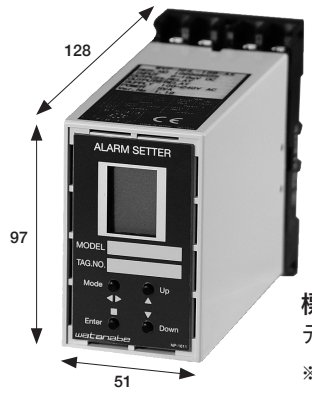
警報設定器(アラームセッタ)

WVP-NHL



標準価格 ： 66,000円
テストレポート： ＋1,000円

※「99」コードについては別途
お問い合わせください。

本器は直流電流、電圧信号を入力し、その値が設定値(2点)以上又は以下のときに、リレー接点信号又はオープンコレクタ信号を出力する、プラグイン式の変換器です。
また本器はLCD表示器付きで、入力実量値の確認、警報設定値、警報動作方向、警報反転設定、各種パラメータ変更を本体で行うことができます。リレー接点はa接点です。

特　長

- 実量値確認モードで入力実量値の確認
- 警報設定値、入力スケーリング、警報動作方向、警報反転設定、各種パラメータを任意に変更可能
- 長寿命設計
- ワールドワイド電源対応
- CEマーキング適合

型　式

WVP — N H L — □□ □ — □ □

NHL	警報設定器(アラームセッタ) 2点設定(1入力2出力)

	第1入力信号	入力抵抗
10	DC0～10mV	1MΩ
11	DC0～100mV	1MΩ
12	DC0～1V	1MΩ
13	DC0～5V	1MΩ
14	DC1～5V	1MΩ
15	DC0～10V	1MΩ
16	DC0～50mV	1MΩ
17	DC0～60mV	1MΩ
24	DC±5V	1MΩ
25	DC±10V	1MΩ
31	DC0～100μA	1kΩ
32	DC0～1mA	100Ω
33	DC0～10mA	50Ω
34	DC0～16mA	50Ω
35	DC0～20mA	50Ω
36	DC4～20mA	50Ω
99 *1	上記以外　お問い合わせください 電流入力：±20mA　スパン：100μA～40mA 電圧入力：±10V　スパン：10mV～20V	

出力動作	
A	2点設定リレーH、H動作
B	2点設定リレーH、L動作
D	2点設定リレーL、L動作
F	2点設定リレーL、H動作
G	2点設定オープンコレクタH、H動作
H	2点設定オープンコレクタH、L動作
I	2点設定オープンコレクタL、L動作
J	2点設定オープンコレクタL、H動作

電源電圧	
A	AC100～240V±10%(50/60Hz)
D	DC24V±10%
8	DC100～120V±10%

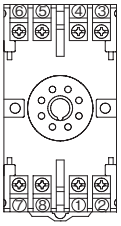
テストレポート	
X	なし
T	付き

＊1　入力コード「99」の製品はCE対応品としてご使用できません。

適合EN規格：EN 61326-1
EN 61010-1
EN IEC 63000
設置カテゴリ：Ⅱ
汚染度：2

仕　様

入力信号	直流電流／電圧
出力信号	リレー接点(a接点)またはオープンコレクタ
比較方式	アナログ比較方式
設定数	2点
設定方法	LCD表示器の操作により設定
リレー接点容量	AC250V 5A、DC30V 5A 最小適用負荷　5V 10mA 電気的寿命　10万回以上、機械的寿命　5000万回以上
オープンコレクタ出力容量	DC30V 50mA、ON電圧1.2V以下
再現性	±0.1%fs
動作表示	通常動作時はLCDが黄色表示 警報時はLCDが赤色表示
構造	プラグイン(本体部とソケット部で構成)
設定精度	±0.1%fs
応答時間	約50ms(入力変化0～100%、警報設定値が50%に相当する値のとき、警報が出力されるまでの時間) 警報遅延時間設定および警報ヒステリシス設定が最小値、入力フィルタ設定がOFFの場合
消費電力(電流)	約5VA(AC)、約90mA(DC24V)、約15mA(DC)
絶縁抵抗	100MΩ以上(DC500V) 入力－第1出力－第2出力－電源各端子間相互
耐電圧	AC2000V　1分間 入力－第1出力－第2出力－電源各端子間相互
停電時設定保持	本体内部のフラッシュメモリによる保存
使用温湿度範囲	－5℃～＋55℃　90%RH以下(非結露)
保存温湿度範囲	－20℃～＋70℃、90%RH以下(非結露)
温度特性	±0.015%fs/℃
電源電圧の影響	±0.1%fs(定格電圧内)
外形寸法	97(H)×51(W)×128(D)mm
質量	約240g
外形図	外形寸法図Ⅵ参照
結線部位	ベースソケットのM3.5セムスネジ部(締付トルク0.8N・m)
ケース色・材質	アイボリー色・耐熱性ABS樹脂(UL94V-0)
取付方法	DINレール取付または壁面取付け
端子配列	



端子番号	記号		内容
1	OUTPUT-1	NO1	出力信号1(a接)
2		COM1	
3	INPUT	＋	入力信号
4		－	
5	OUTPUT-2	NO2	出力信号2(a接)
6		COM2	
7	SUPPLY	U(+)	電源
8		V(−)	

アラームセッタ　LCD表示器　WVP-NHL

主な表示内容

WVP-NHLは付属のLCD表示器により、実量値の確認や、警報等の各種設定を行うことが可能です。

		モニタモード		警報設定値モード 警報動作設定変更モード ツールモード
		実量値確認モード	設定値確認モード	
11セグメント※1	1行目	入力値	警報1設定値	設定項目
	2行目	警報動作状態	警報2設定値	設定値
レベル表示※1		入力レベル		非表示
バックライト	黄色	非警報動作時点灯※1		
	赤色	警報動作時点灯		

※1　警報未発生状態で約1分間ボタン操作が行われないとき、バックライトは消灯し、LCD表示は低コントラストで表示します。
ボタン操作を行うことによりバックライトが点灯し、LCD表示は通常のコントラストに戻ります。

設定項目一覧

警報設定値変更モード及び警報動作設定変更モードで設定変更を行える設定項目は以下の通りです。

警報設定値変更モード

設定項目	機能説明	設定範囲	デフォルト	1行目
警報1： 警報設定値	警報1　警報設定値	入力スケーリング値(カウント値)にて任意に設定可能	スケーリング幅の80%	AL1
警報2： 警報設定値	警報2　警報設定値	入力スケーリング値(カウント値)にて任意に設定可能	スケーリング幅の20%	AL2

警報動作設定変更モード

設定項目	機能説明	設定範囲	デフォルト	1行目
入力スケーリング範囲設定	入力スケーリングLow/Hi設定の設定範囲と小数点位置を設定	表示　　内容 99.99　：0.00～99.99 999.9　：0.0～999.9 9999　：0～9999 －9.99　：－9.99～9.99 －99.9　：－99.9～99.9 －999　：－999～999 以上6モードから選択	0～999.9	SRNG
入力スケーリングLow設定	入力0%時の表示値を設定	入力スケーリング範囲内	0.0	S Lo
入力スケーリングHi設定	入力100%時の表示値を設定	入力スケーリング範囲内	100.0	S HI
警報1： 警報方向設定	警報1の上方警報：H動作、 下方警報：L動作の設定	Hi：上方向 Lo：下方向	形式による	dIR1
警報1： 警報ヒステリシス設定	警報1の警報解除時のヒステリシス幅の設定	カウント値にて設定	スケーリング幅の0.2%	HYS1
警報1： 警報遅延時間設定	警報1の警報発生検出から警報出力までの遅延時間の設定 (設定された遅延時間内に警報が解除された場合、警報出力はされません。)	0～999(sec)	0(sec)	dLY1
警報1： 警報反転／非反転設定	警報1の警報出力信号の反転／非反転の選択	ON　：反転 OFF：非反転	OFF(非反転)	Rdo1
警報2： 警報方向設定	警報2の上方警報：H動作、 下方警報：L動作の設定	Hi：上方向 Lo：下方向	形式による	dIR2
警報2： 警報ヒステリシス設定	警報2の警報解除時のヒステリシス幅の設定	カウント値にて設定	スケーリング幅の0.2%	HYS2
警報2： 警報遅延時間設定	警報2の警報発生検出から警報出力までの遅延時間の設定 (設定された遅延時間内に警報が解除された場合、警報出力はされません。)	0～999(sec)	0(sec)	dLY2
警報2： 警報反転／非反転設定	警報2の警報出力信号の反転／非反転の選択	ON　：反転 OFF：非反転	OFF(非反転)	Rdo2
入力フィルタ設定	移動平均処理のON/OFF 入力フィルタをONすること(移動平均処理)で入力ラインに重畳したノイズの影響を軽減できます。	ON　：移動平均32回 OFF：移動平均15回	OFF	FILt
起動遅延時間設定	電源起動時の比較動作開始までの遅延時間設定	0～99(sec)	0(sec)	PdLY

ツールモード

設定項目	機能説明	LCD表示1行目
警報出力テストモード1	テスト用に警報出力1のON/OFFを行うことができます。	tOt1
警報出力テストモード2	テスト用に警報出力2のON/OFFを行うことができます。	tOt2
入力ゼロ調整	入力0%となる入力信号を設定します。	AdJZ
入力スパン調整	入力100%となる入力信号を設定します。	AdJM